

ふれあいネットワーク

社会福祉協議会だより

# 夢ふうせん

今回の情報紙は共同募金の配分金で発行しています

第 111 号

2015年10月

社会福祉法人  
下市町社会福祉協議会  
下市町ボランティアセンター  
下市町大字善城140番地1  
☎ 52-6125



## 今年も赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

8月29日に開催された『下市町夢まつり』に出店（ベビーカー・カステラ・カレーライス・飲料）させて頂きました。売上収益金93,213円と募金1,238円を全額「赤い羽根共同募金」に寄付させて頂きました。

ご協力ありがとうございました。

全国統一キャッチ「ピー

「じぶんのまちを

良くするしくみ」



赤い羽根  
共同募金

10月1日▶

「赤い羽根募金」という愛称で親しまれている共同募金は「社会福祉法」という法律に定義づけられている民間募金で、「地域福祉の推進」を目的としています。奈良県内でお寄せいただいた募金は奈良県内で実施される地域福祉事業に助成されます。

奈良県共同募金会に集められた募金は下市町にも配分され、町内地域福祉活動を推進するための福祉教育・児童安全対策・高齢者いきいきサロンや子育てサロン支援等に役立っています。

# 介護部門を紹介します



## ◇居宅介護支援

介護を受ける方やその家族が快適な生活を送るための相談窓口です。介護支援専門員〔ケアマネージャー〕が対応します。

## ◇訪問介護

介護が必要な方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう訪問介護〔生活援助・身体介護〕サービスを提供しています。

お問い合わせ

下市町社会福祉協議会（介護部門）

（54）2107 まで

訪問ヘルパー 西村智子  
下市町社会福祉協議会で訪問介護のヘルパーとして働かせて頂いて5年になりました。今までたくさんの人たちと出会い、人生の先輩から多くの事を学び、日々勉強させて頂いています。この住み慣れた下市町での生活が安心して過ごして頂けるよう、また私たちが関わらせて頂く事により、1人でも多くの人が笑顔になってもらえるように頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

訪問介護管理者 中森征孝  
前回、「夢いっせん」で地域担当のニューフェイスとして紹介させて頂いてから、1年8ヶ月が過ぎました。現在は、訪問介護の担当もさせて頂いています。利用者さんとの関わりを大切に、安心してご利用頂けるように皆様のご指導を賜りながら頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

介護支援専門員 江頭庸子  
5月より社会福祉協議会の介護支援専門員として勤務させて頂いております。周りの皆さんからご指導を受け、まだまだ勉強の日々ですが、少しでも早くお役に立てる様頑張りたいと思っています。生活の中での悩みやお困り事に耳を傾け理解し、ご本人とご家族が安心して暮らせる様に一緒に考えさせて頂きます。皆さんに信頼される介護支援専門員になれる様に努力いたしますので今後ともよろしくお願い致します。

介護支援専門員 橋本真紀子  
平成24年3月、私が下市町社協に勤務させて頂いて、最初の大きな仕事は交流センターへの引っ越しでした。それから早3年半、交流センターが「ごんた君の家」として地域の皆様に親しまれていくように、私も下市町に馴染むことが出来ました。これも、地域の皆様がいつも温かく迎え、見守ってくださるおかげと感謝しています。高齢化が進む中、介護保険も改正を重ねています。私達も日々勉強し、いつも最新の情報を皆様に提供できるように努力していきます。

# 平成26年度 事業報告・決算報告

## 社会福祉事業

- ◇ふれあいのまちづくり推進事業
- ボランティアセンター運営事業
- 情報紙『夢ふうせん』発行
- 日常生活用具の貸出事業
- ◇家族介護者交流事業
- ◇地域子育て拠点事業
- ◇心配ごと相談事業
- ◇生活福祉資金貸付事業
- ◇福祉サービス利用援助事業
- ◇共同募金配分金事業
- 福祉教育推進事業
- 災害対策支援
- 障害者地域生活支援事業
- 高齢者支援事業
- ふれあいいきいきサロン推進事業
- ふれあい子育てサロン事業
- 子育てサークル支援
- ◇児童館指定管理事業
- ◇交流センター指定管理事業
- ◇各福祉団体支援（9団体）
- ◇介護サービス等事業
- 訪問介護事業
- 居宅介護支援事業
- ◇障害福祉サービス事業
- ◇災害時相互支援事業

資金収支  
計算書って？

### 社協全体 資金収支計算書

単位：円

●収 入	
会費収入	30,000
寄付金収入	441,360
経常経費補助金収入	12,976,587
受託金収入	8,927,495
事業収入	97,400
介護保険事業収入	23,014,925
障害福祉サービス等事業収入	1,320,440
受取利息配当金収入	4,496
その他の収入	107,477
前期末支払資金残高	19,689,679
合 計	66,609,859

●支 出	
人件費支出	36,707,893
事業費支出	5,230,084
事務費支出	2,239,177
共同募金配分金事業費	1,108,000
助成金支出	110,000
その他の活動による支出	1,150,920
当期末支払資金残高	20,063,785
合 計	66,609,859

資金収支計算書とは  
現金や預金など（流動資産  
と流動負債）の1年間の収  
入・支出を示しています。

### 社協全体 事業活動計算書

単位：円

●収 益	
会費収益	30,000
寄付金収益	441,360
経常経費補助金収益	12,976,587
受託金収益	8,927,495
事業収益	97,400
介護保険事業収益	23,014,925
障害福祉サービス等事業収益	1,320,440
受取利息配当金収益	4,496
その他の収益	107,477
前期繰越活動増減差額	19,689,682
合 計	66,609,862

●費 用	
人件費（退職給付費用・賞与引当金含む）	39,623,992
事業費	5,230,084
事務費	2,239,177
共同募金配分金事業費	1,108,000
助成金費用	110,000
次期繰越活動増減差額	18,298,609
合 計	66,609,862

事業活動  
計算書って？

事業活動計算書とは  
現金・預金や固定資産な  
ど、社協すべての財産の  
1年間の収入・支出を示  
しています。

貸借対照表っ  
て？

### 社協全体 貸借対照表

単位：円

●資産の部	
流動資産	21,744,095
固定資産	9,466,265
合 計	31,210,360

●負債の部	
流動負債	3,445,489
固定負債	8,315,160
●純資産の部	
基本金	1,000,000
ボランティア積立金	151,102
次期繰越活動増減差額	18,298,609
合 計	31,210,360

貸借対照表とは  
社協の資産や負債がど  
れくらいあるのかをし  
めしています。  
資産－負債＝純資産



## 26年度

赤い羽根共同募金地域福祉配分金【 555,600 円】  
 歳末たすけあい募金 【 552,400 円】

合計 1,108,000 円は

- ◎ 防災対策事業（防災ずきん配付） 【 36,720 円】
- ◎ 福祉教育推進費用（手話教室等） 【 50,675 円】
- ◎ 高齢者いきいきサロン支援 【509,585 円】
- ◎ 障害福祉等 【 30,000 円】
- ◎ 夢ふうせん発行費用 【139,482 円】
- ◎ 歳末見舞金 【232,500 円】
- ◎ 子育てサロン・サークル支援 【 92,632 円】
- ◎ 赤ちゃん誕生訪問事業 【 16,406 円】

に役立たせていただきました。

平成27年度も地域の福祉活動に役  
 立たせていただきます。

ご協力よろしくお願いします。

下市町社会福祉協議会  
 下市町共同募金委員会



### ◎ 高齢者いきいきサロン支援（町内約21カ所）

自宅から歩いていける範囲で周辺住民が協力しあい、楽しく、いきいきと生活でき、介護予防や仲間づくりを目的に開催しています。

地域の民生委員・ボランティア・老人クラブ・自治会の協力で歌を歌ったり、ゲームや体操をしたり、みんなで昼食を作ったりして楽しく過ごされています。



### ◎ 子育てサロン・サークル支援

子育て中のお母さんが子どもと一緒に身近な場所で気軽に集まって親子でなかまづくりをする場です。主任児童委員・民生児童委員、また地域のボランティアさんの協力を得て、七夕・クリスマス・おひなまつり等季節の行事を取り入れながら毎回楽しくサロンを開いています。

また育児の孤立化を防ぎ母親同士の情報交換の場としても楽しく過ごされています。



### ◎ 福祉教育推進事業

#### ・町内幼稚園・保育園手話教室開催

聴覚障害のことやコミュニケーションの方法、又「おはよう」「こんにちは」等の簡単な挨拶を学びました。

#### ・車椅子体験学習（下市小学校）

#### ・高齢者についての学習（下市中学校）

障害者や高齢者等の立場に立って考え、理解すると共にボランティア活動の大切さや意義について学びました。



### ◎ 防災対策事業（町内保育園・幼稚園）

いつ起こるかかわからない災害に備えて頂くため、町内保育園、幼稚園に防災ずきんを配付。

保育時、地震等から身を守る防災グッズとして、園に備え付けて、防災訓練などに活用していただきます。



### ◎ わかばまつり

共に支えあう地域づくり、居場所づくりを目的に毎年開催され、地域の新たな集いの場となっています。



### ◎ やすらぎ箱配付事業

80歳以上の一人暮らし高齢者対象に不測の事態に備え、民生児童委員を通じ配付しました。

